

目標達成計画

事業所名: グループホームもちの木

作成日: 平成23年5月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害対策・協力体制の構築 山武市役所との連携強化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化の必要性について自覚してもらう ・緊急時の方向性について、意志の統一をはかる 	連携強化の必要性について、GH連絡会や運営推進会議を通して、現在の市役所の「大震災時にグループホームへの協力は行なわない。自分達で何とかして欲しい」という方針から、地域の一員として助け合う必要があると理解してくれるまで、伝えていく。	12ヶ月
2		災害対策・協力体制の構築 山武市内他事業所(グループホーム)との連携強化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化の必要性について自覚してもらう ・緊急時の方向性について、意志の統一をはかる ・緊急時に助け合うシステムを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化の必要性について連絡会で話し合う ・緊急時の方向性について連絡会で話し合う ・緊急時のGH間連絡網を作成する 	6ヶ月
3		災害対策・協力体制の構築 家族との連携強化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化の必要性について自覚してもらう ・緊急時の方向性について、意志の統一をはかる ・緊急時に助け合うシステムを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の方向性についてアンケートをとり、各家庭の緊急時の思いについて確認する ・メーリングシステムを導入する 	3ヶ月
4		災害対策・協力体制の構築 その他、助けてもらえる機関の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に助けてくれる機関の増加をはかる 	・緊急時に助けてくれる機関について、GH連絡会や運営推進会議、社会福祉協議会等と話し合い、新しい機関を見つけ、関係作りを行う。	12ヶ月
5		家族イベント予定などについて、現状よりももっと頻繁に行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との連絡強化により連携強化をはかる 	メーリングシステムを導入し、運用する。	3ヶ月